

## 6. 学術情報センター

学術情報センター長 福田 国彦 (放射線医学講座) (平成25年4月から)  
同 図書館国領分館長 横井 勝弥 (数学研究室) (平成25年4月から)

### 1) 平成27年度統計 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

#### (1) 図書館

① 蔵書冊数	264,122冊	
② 現在受入雑誌数	737種	(和624種、洋113種)
③ 電子ジャーナル提供数	6,321種	
④ 館外貸出冊数	10,652冊	
⑤ 他学との文献相互貸借数	貸出 2,411件	借受 1,947件
⑥ 複写サービス	62,068枚	(代行複写、相互貸借 (他館への提供)、附属病院へのFAX送信、セルフコピーの合計)
⑦ 情報検索サービス	86,524件	(代行とセルフサービスの合計)

#### (2) 国領分館

① 蔵書冊数	89,395冊	
② 現在受入雑誌数	357種	(和301種、洋56種)
③ 館外貸出冊数	10,536冊	(視聴覚資料含む)

#### (3) 標本館

① 標本数	マクロ標本	1,615点
	顕微鏡標本	2,549点
② 視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,893セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	70セット
	語学プログラム	206セット
	その他	79セット

#### (4) 史料室

見学者数 174名 (学内37名、学外137名)

#### (5) 写真室

① 撮影・スライド作成	62件	(2,123枚)
② レントゲンフィルム複製	14件	(94枚)
③ ビデオ編集	84件	(568時間)
④ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	615件	(11,853枚)
⑤ 35mmスライドのデジタル化	5件	(356枚)

### 2) 主な事項

#### (1) 国際交流センターの設置

平成27年4月1日付で学術情報センターに国際交流センターが設置された。平成27年度の学術情報センターの構成は、図書館、標本館、写真室、史料室、医学英語研究室、国際交流センターとなった。

#### (2) 医学部学生および大学院生の演習の担当

医学科1年生の「情報検索演習」、2年生の「医学総論」、医学科3年生「医学統計学Ⅱ演習」、看護学科1年生の「総合演習」、看護学科3年生の「研究方法論：文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーション、大学院医学研究科看護学

- 専攻修士課程1年生への演習を担当した。
- (3) 教職員等を対象とした情報検索演習  
教育センターによる附属4病院の在職看護師を対象とした「エデュケーションナース研修」(9月7日)と「看護監督者研修」(12月7日)、東京慈恵会による学外の看護教育関係者を対象とした「教務主任養成講習会」(6月17日)で情報検索演習を担当した。また、教職員を対象としたデータベース講習会を3回実施し、延べ40名の参加があった。
- (4) ネットワークを介した情報提供  
電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するサービス(AutoAlertサービス)を引き続き実施している。また、新聞4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービス(平成16年12月開始)も継続した。
- (5) 学術リポジトリの構築  
学内の学術成果物を電子的に蓄積し、インターネット上に公開するためのシステムである学術リポジトリの運用を担当している。『東京慈恵会医科大学雑誌』、『Jikeikai Medical Journal』、『教育・研究年報』、『Research Activities』の最新の内容を登録し、インターネット経由で参照できるようにした。また、学事課との協力により学位論文要旨の学術リポジトリによるインターネット公開を実施している。  
平成27年度の学術リポジトリへの登録件数は300件で、利用状況は閲覧671,379件、ダウンロード764,418件であった。
- (6) 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2014(第34号)』および『Research Activities 2014』の編集  
両年報の編集作業を担当した(両年報とも3月1日発行)。
- (7) 教員評価システム管理委員会に関する取り組み  
教員評価システムの業績データ入力機能に関する問合せ窓口を担当し、学内教職員を対象とした入力方法の説明会を2回実施した(7月14日・7月22日)。
- (8) 医学論文書きかた講習会の開催  
Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による以下の講習会の開催を担当した。これらの講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。  
・「英語論文を書く際に英語力は必要ない!」(5月14日)(参加82名)  
坪田昭人教授(総合医科学研究センター基盤研究施設(分子細胞生物学))  
・「Anatomy of a Medical Research Article: Analysis of the structure and style elements of a typical article in a medical journal」(5月26日)(参加66名)  
小原平教授(英語研究室)、Dennis Riches講師(成城大学教授)  
・「英語論文の基本-論理展開と表現」(5月28日)(参加63名)  
小原平教授(英語研究室)、穴沢良子講師(東京大学特任研究員)  
・「自分を育てる医学・看護学英語論文作成技法」(6月2日)(参加60名)  
藤田哲二准教授(外科学講座)  
(開催時間は、いずれも18時~19時30分)
- (9) 総合展示の開催  
以下1テーマの展示の提供をいただき、1月25日(月)~2月5日(金)に大学1号館ロビー、高木会館ロビーにて開催した。  
・「肝疾患研究;最近の成果から一自己免疫性肝炎(AIH)の多様性およびC型肝炎ウイルス(HCV)感染におけるリポ蛋白代謝異常について」  
相澤良夫教授(内科学講座(消化器・肝臓内科)・葛飾医療センター)
- (10) 教材・研究資料の作成支援  
学内教職員・学生、同窓生を対象に、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、

- ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。
- (11) レントゲンフィルムの複製  
教育・研究用、病院保管用の資料作成、他病院・関連機関への情報提供のためのレントゲンフィルム複製の業務を担当した。
  - (12) 広報活動支援業務  
学内行事および広報用の写真撮影、画像データの保管・提供を担当した。
  - (13) リモートアクセスサービスの開始  
大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外(自宅や派遣先)からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」(平成21年度開始)の利用者登録とサポート作業を行った。平成27年度の新規登録者は289名で、平成27年度末までに利用登録者は2,172名となった。
  - (14) 「東京慈恵会医科大学130年史(平成23年度発行)」関連の業務  
掲載内容に関する問い合わせへの対応、130年記念事業寄付者へ送付確認作業を担当した。
  - (15) 西新橋再整備計画「図書・講堂スモールワーキンググループ(SWG)」への参加  
平成26年度に引き続き図書・講堂SWGに参加し、図書館移転計画案の作成に取り組んだ(再整備統括会議にて大学管理棟とC棟地下1階が図書館移転先の候補地となった)。
  - (16) 海外からの選択実習生の受入れ  
海外医科大学からの選択実習生の受入れは、平成27年4月～平成28年3月の期間で65名(男子学生34名、女子学生31名)であった。なお、毎週月曜日に選択実習生と本学学生、教職員との交流会(International Café)を開催した。
  - (17) 医学科学生の英語OSCEの実施  
医学科学生を対象にした外国人模擬患者による英語OSCEを実施した。
    - ・オープンキャンパス英語OSCE  
8月15日(1年生6名参加)※講義・練習:7月22日・8月4日
    - ・海外臨床実習へ向けての英語OSCE—第1回セッション  
12月5日(4年生2名、5年生10名参加)※講義・練習:11月14日  
12月12日(4年生4名、5年生12名参加)
    - ・海外臨床実習へ向けての英語OSCE—第2回セッション  
1月16日(4年生4名、5年生10名参加)※講義・練習:1月9日  
1月23日(4年生7名、5年生5名参加)
  - (18) 4大学「ネイティブ英語模擬患者参加型英語医療面接」演習の開催  
平成28年3月17日に本学と昭和大学、東邦大学、東京医科大学の4大学学生教育交流校の合同によるネイティブ英語模擬患者参加型英語医療面接を実施した。  
会 場:大学1号館  
参加人数:本学3名、昭和大学2名、東邦大学1名、東京医科大学5名
  - (19) 看護師の英語学習プログラムの実施  
看護師を対象にした英語学習プログラムを実施した。
    - ・英語教育プログラム  
外来、病棟、病院で使う英語に関する演習を行った。  
開催日時:平成27年8月18日、8月25日、8月28日。(参加24名)
    - ・英語でしゃべらなース  
東京医科大学との共同企画で、外来と病棟で使う英語に関する演習を行った。  
開催日時:平成28年2月2日、2月16日、2月19日。(本学からの参加10名)
  - (20) 海外実習・留学支援セミナーの開催  
平成27年8月27日(木)に平成27年度第1回海外実習・留学支援セミナーを開催した。4大学学生教育交流校(昭和大学・東邦大学・東京医科大学)や日米医学医療交流財団、日経メディカルなどを含む学外、学内から49名の参加があった。

- (21) 選択実習（国外）報告会、医学科海外選択実習報告会の開催  
平成27年9月12日に平成26年度選択実習（国外）報告会を開催した。また、10月9日に第132回成医会総会において平成27年度医学科海外選択実習報告会を行った。
- (22) USMLEセミナーの開催  
平成27年12月7日にUSMLEに興味を持つ学生、若手医師などを対象にUSMLEセミナーを開催した。（講師：Dr. Nicholas Rennick（The University of Sydney, Australia））（本学からの参加10名）
- (23) 規程類の改定  
Jikeikai Medical Journal投稿規程、東京慈恵会医科大学雑誌投稿規程、宮本幸夫を応援する会による海外派遣助成規程、東京慈恵会医科大学学外研究員に関する内規の改定を行った。